

# 役立 情報



## 林業の仕事をしてみたい人へ

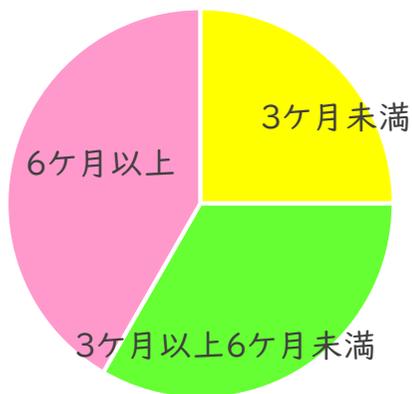
若手の職員に尋ねたところ、試験に向け特に、森林・林業白書、森林・林業実務必携、過去問題に取り組んでいました。  
また、毎年夏にインターンシップを行っており、現地での職場体験や若手職員との意見交換もありますので、ぜひご参加ください!



若手職員が採用試験に向けて行ったことを紹介します。



## 採用試験の勉強期間は？



## 試験に向けてどんな勉強をしましたか？

- ・森林・林業白書を読んだ。
- ・森林・林業実務必携を読んだ。
- ・国家公務員試験の過去問を取り寄せて解いた。  
(林業職や環境職の林業分野)  
(林業以外の専攻の職員は全員行っていました)
- ・高校や大学に残されている過去問を解いた。
- ・林野庁のホームページに掲載されている、林業普及指導員試験の過去問題を解いた。
- ・林業関係の最近のニュースを確認した。
- ・県のHPより「次世代の大分森林(もり)づくりビジョン」を読んだ。
- ・林業技術ハンドブック、林政ニュースを読んだ。
- ・文部科学省著作「森林経営」「森林科学」「林産物利用」の教科書を基に授業で学んだ。(初級採用職員)



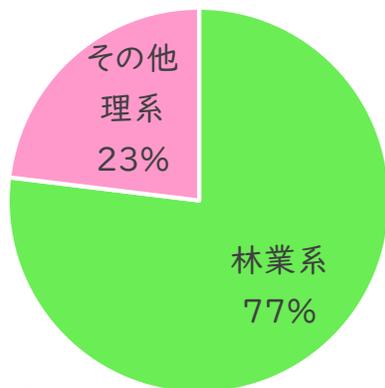
## その他いろいろ

- ・インターンシップに参加した。
- ・高校や大学の卒業生である林業職員から情報収集をした。

# 役立 情報 ②

## 採用前の専攻は？

### 近年5ヶ年の上級試験採用者



## 林業の仕事をしてみたい人へ



林業系以外専攻の出身者も大歓迎です！  
年々増加しており、皆さん活躍しています。  
文学部から受験し採用され、その後様々な資格も取得し、  
現在は林業技術を広域に普及している職員もいます。



林業系以外の学部出身で採用された職員に、いろいろと聞いてみました。

～①きっかけ ②勉強方法 ③メッセージ～

### ○理学部卒業（R3採用）

- ①大学で災害や防災について学びました。近年大雨による土砂災害が多く、林業職の治山事業に携わり、地元である大分県の防災や復旧に貢献したいと思い林業職を受験しました。
- ②林業白書を読み、国家公務員試験の過去5年間分の試験問題を解きました。問題を解くだけでなく、分からない単語を調べることに力を入れました。
- ③大学で学んだことは筆記試験にまったく役に立ちませんでした。3ヶ月間みっちり対策すれば大丈夫です。今現在の業務もなんとなくこなれているので、専門を学んでおらず不安が大きいと思いますが、林業職に興味がある方はぜひ挑戦してみてください。

### ○環境科学部卒業（R3採用）

- ①小学生の頃から動物が好きで、大学で動物生態を研究するうちに鳥獣対策を行う仕事に就きたいと思い林業職を受験しました。
- ②森林・林業白書、森林・林業実務必携、林業技術ハンドブックを用いて、国家公務員一般 林業区分の過去問を6年分解きました。国家一般試験の問題は40問5択式で出題されるので、6年分×40問×5択=1200の文章の添削を上記の参考書を用いて行いました。上記の参考書3冊に問題の6～7割の解説が載っていますが、残りの分は大学の図書館にある参考書を用いました。（砂防工学 森林水文学 木材工学 樹木図鑑など）はじめは1年分を添削し終わるのに2～3ヶ月かかりましたが、同じ傾向の問題が毎年出題されるので半年ほどで6年分の添削が終了しました。記述式問題は問題を公開している都道府県がいくつかあるのでそれらを解いて対策しました。
- ③林業は鳥獣対策や森林整備といった環境的な業務もあれば治山や測量といった工学的なこと、法律や経営学を用いた文系的な業務などあまり知られていないだけで職務内容がかなり幅広いです。どのような学部であっても皆さんの専攻を活かせる機会が多くありますので森林に興味をお持ちなら、ぜひ大分県の林業職をご検討ください。